

FUKUOKA SHORT FILM AWARD 2026

CALL FOR ENTRIES

エントリー受付中

応募要件

応募期間：2026年4月22日～7月31日

- ・ 20分以内の短編映画（2025年10月1日以降完成作品）
- ・ 福岡市内で7割以上撮影または福岡を題材にしたもの
- ・ プロアマ、ジャンル、作品の発表未発表、不問
- ・ 作品完成時点で40歳未満の監督
- ・ 福岡市を活動拠点としている、または福岡市にゆかりがあること

特典

最終審査に選ばれた優秀作品1～3作品程度の監督に対し以下の特典を用意します。

1. 海外映画祭等のコンペ&マーケットへの旅費含む出展支援
2. 福岡インディペンデント映画祭内での特別上映
3. 映像プラットフォームでの上映交渉権利

詳細はこちら



問い合わせ先：Fukuoka Short Film Award事務局
Mail：fukuoka.short.film.award@gmail.com

プレイベント
決定!

6

8 (月)

事前予約制・参加無料

時間

17:00~18:00 (受付開始: 16:30)

場所

GMO Yours (GMO天神オフィス)

福岡市中央区天神二丁目8番35号天神住友生命FJビジネスセンター 23階

会場提供: **GMO** INTERNET GROUP

1. コンテンツ制作を仕事にし続ける 福岡拠点での戦い方

福岡市で創立し、来年設立30周年を迎えるKOO-KI代表・木綿達史氏から福岡でコンテンツ制作を事業化し、継続させるための具体的な戦い方を伺います。コンテンツ制作を「一生の仕事」にするためのキャリア設計など福岡を拠点に活躍し続けるための戦略をお伺いします。

木綿 達史 空気株式会社 (KOO-KI) 代表取締役

石川県出身。97年にKOO-KIの前身である空気モーショングラフィックスを九州芸術工科大学(現九州大学芸術工学部)時代の友人らと共同設立。自身もディレクターとして、TVCMやゲームOP、MVなどの企画演出を手がける。

2. ケーススタディ: 下津優太監督

— 福岡発、短編映画からの商業デビュー戦略

福岡で製作された短編映画『みなに幸あれ』

商業映画監督デビューへのチャンスを掴んだ具体的なプロセスを紹介。

制作に携わった当事者が登壇し、どのような視点で制作されたのかなど、実務的な知見を提供。

短編映画『みなに幸あれ』を福岡初上映いたします。

登壇者: 下津優太監督 (オンラインもしくはビデオメッセージ)

古賀 芳彦 (CHINZEI合同会社代表/カメラマン)

下津 優太 映画監督

1990年、福岡県北九州市生まれ。佐賀大学在学中より福岡・佐賀でCMの企画・演出に従事し、CHINZEIのメンバーとして活動。

2021年、自ら監督・脚本を務め、福岡で撮影された短編映画『みなに幸あれ』が、KADOKAWA主催の「第1回日本ホラー映画大賞」にて大賞を受賞。古川琴音を主演に迎え2024年に長編監督デビュー。最新作『NEW GROUP』(6月12日公開)も、第29回ファンタジア国際映画祭での審査員特別賞受賞をはじめ、19を超える海外映画祭に出品されており、国内外から高い期待を寄せられている。

ご予約方法

※5/22 (金) 締切

<https://forms.cloud.microsoft/r/wNWCVF6kuk>

もしくは右記コードにアクセスしてください



18:30より同会場で「The Creators 2026」のキックオフイベントとして
ゲーム・音楽・アニメ等のコンテンツ業界交流会を開催 (参加無料)
「Fukuoka Short Film Award」の特典詳細も、当イベントで発表いたします